

# Japan Cloud Services (Japanese Version)

AN IDC SPECIAL INTELLIGENCE SERVICE

国内市場ではクラウドは広く普及し、企業の利用／導入目的も、IT／業務の効率化から、デジタルトランスフォーメーション（DX）／データ駆動型ビジネスへと拡大しています。すでに、ほとんどのベンダーがクラウドを中核事業として、データの活用やクラウドネイティブ技術などの価値をユーザー企業に訴求しています。また、企業のDXを支援するために、自社の製品／サービスを発展させると共に、システム開発の内製化支援や産業分野別ソリューションの開発、エコシステムの強化を図っています。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Cloud Services (Japanese Version)」では、年間を通じて国内クラウド市場の調査、分析を行います。本サービスではクラウドをサービスモデルや配備モデルに区分して市場調査を実施し、クラウド市場において成功するための情報を提供いたします。2023年は、企業のクラウドジャーニー戦略と技術トレンド、エコシステムの分析を強化し、ITサプライヤーに対する提言を行います。

## Markets and Subjects Analyzed

- サービスモデル別市場規模および予測（アプリケーション、プラットフォーム、インフラストラクチャ）
- 配備モデル別市場規模および予測（パブリッククラウド、プライベートクラウド）
- 技術トレンドの調査
- エンドユーザー調査
- ベンダーの競合分析
- クラウドやDXがIT市場に与える影響の調査

## Core Research

- 国内パブリッククラウド市場予測
- 国内プライベートクラウド市場予測
- 国内クラウド市場：用途別市場予測
- 国内クラウド市場：需要動向調査
- 国内クラウド市場：ベンダーのビジネス動向分析
- IDC FutureScope: Worldwide Cloud 2023 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Cloud Services \(Japanese Version\)](#).

## Key Questions Answered

- クラウドベンダーにとってのビジネス機会はどこにあるのか？
- クラウド事業を成功に導く要素は何か？
- ユーザーニーズや投資動向の変化にクラウドベンダーはどのように対応すべきか？
- どのようなサービスセグメントやビジネスモデルが最も高い成長を遂げるのか？
- 技術の発展やユーザーの利活用の変化が、クラウドに与える影響は？
- リーディングベンダーはどのような戦略でビジネスの拡大を図っているのか？

## Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50音順）。

AWS、IBM、KDDI、NEC、NTTグループ、SAP、TIS、アクセンチュア、伊藤忠テクノソリューションズ、VUEMウェア、オラクル、グーグル、シスコシステムズ、セールスフォース・ドットコム、ソフトバンク、日立製作所、富士通、マイクロソフト、その他